

【花巻市・6月のDATA】人口と世帯数は平成18年6月末現在、()内は1月からの累計・前年同期累計との比較
 人口 / 106,039人(男50,625人 / 女55,414人) 世帯数 / 35,284
 交通事故 人身事故 / 35件(207・-12) 死者 / 2人(2・-2) 負傷者 / 42人(273・-31)
 火災 火災件数 / 3件(20・+2) 焼死者 / 0人(1・+1)
 救急活動 出動件数 / 233件(1,527・-16) 搬送人員 / 231人(1,467・-33)
交通事故死者は事故発生から24時間以内、焼死者は48時間以内に亡くなった方の統計です

市役所の開庁時間が変わりました【問い合わせ】 ☎総務課(☎内線415)
 7月3日から市役所の平日の開庁時間が、次のとおり変更になりました。
 ▷開庁時間 = 午前8時30分～午後5時30分(土曜日・日曜日は午後5時まで)

綾戸智絵 CONCERT 2006

【問い合わせ】 文化会館(☎24-6511)
 ◆日時 9月29日(金)、午後7時
 ◆会場 文化会館大ホール
 ◆入場料 6,000円(全席指定)
 ◆チケット発売開始 7月29日(土)、午前10時から
 ◆プレイガイド
 文化会館、なはんプラザ、アルテマルカン、イトウセイ、正時堂、大迫町いせかん、砂田屋石鳥谷店、サンライフ東和店
 ◆電話予約(文化会館のみ)
 7月29日(土)、午後1時から



ツキノワグマの出没にご注意!

【問い合わせ】 農林課(☎内線295) 産業課(☎内線163、☎内線243、☎内線412)
 最近市内で、人家の近くや畑などでツキノワグマの足跡や姿を見かけたという情報が寄せられています。今年はクマの食べ物が不足し、例年よりも被害が増加すると予測されるため、県では「ツキノワグマの出没に関する注意報」を発令して、注意を呼びかけています。
 ツキノワグマは本来臆病な性格で、人間の気配を感じると逃げてしまいますが、今は子育て中。母グマは子グマを守るために神経質になっています。
 山菜採りなどで山や森に入るときは、「ツキノワグマの生活場所に入る」と認識し、音のするもの(鈴や笛など)を身に付け、クマに出会わないように十分注意しましょう。また、家庭の残飯や生ごみなどはクマの食べ物になります。クマを寄せ付けないためにも、家の周りには廃棄しないようにしましょう。
 ツキノワグマを見かけたり、被害に遭ったりしたときは、本庁農林課または各総合支所産業課までご連絡ください。

漏水調査・水道メーター交換を実施

☎水道事業所 ☎上下水道課
 【問い合わせ】 (☎内線527) (☎内線151) (☎内線253)

漏水調査
 限られた水資源を守るため、漏水調査を行います。
 ▷対象 = 花巻・石鳥谷地域
 ▷期間 = 7月中旬～11月
 日中(午前9時～午後5時)
 宅地内の止水栓・メーター器の調査
 夜間(午後9時～午前5時)
 道路上での配水管の調査、消火栓の配水管の水圧調査

水道メーター交換

計量法に基づき、有効期間満了となった水道メーターを交換します。
 ▷対象 = 花巻・大迫・石鳥谷地域
 対象世帯には通知します
 ▷期間
 花巻... 7月中旬～12月
 大迫... 9月～11月
 石鳥谷... 7月下旬～10月下旬

調査員、工事業者は、腕章を付け身分証明書を携行しています。
 不審な場合は本庁水道事業所、または各総合支所上下水道課までご連絡ください。

市営住宅の入居者を募集

☎管理課
 【問い合わせ】 ☎内線542

花巻地域

団地名	戸数	間取り	入居対象
大谷地	1戸	3K	一般・母子・単身

 ▷締め切り = 7月31日(月) 午後3時
 受け付け終了後、抽選で決定

要約筆記ボランティア養成初級講座

▷日程 = 7月27日～8月24日の毎週木曜日、全5回、午前10時～正午
 ▷会場 = 総合福祉センター
 ▷受講料 = 無料
 申し込み・問い合わせは、社会福祉協議会(☎24-7222)へ。

駐車違反重点路線について

問い合わせ 花巻警察署(☎23 0110)
 改正道路交通法が、6月1日から施行されました。花巻警察署管内の駐車違反取り締まりを強化する「重点路線」と「重点地域」は次のとおりです。
 【重点路線】 = 花巻大曲線(岩手銀行花巻支店前～里川口交差点)
 花巻停車場線(一日市信金前～四日町三丁目交差点)
 【重点地域】 = 中寺林犬淵線(石鳥谷交番前～大正橋入口)
 迷惑駐車などは、そのほかの場所でも従来どおり取り締まります

企業広告スペース

イーハートープ
 VOL. 6
 さ さ き や え こ
 佐々木八重子さん
 大通り一丁目
 56歳
 体を動かすことは楽しいですよ

「学校体育から社会体育へ活動の場を移してから約20年になります。体育指導員としてスポーツ教室に携わり始めたころは、スポーツ教室はスポーツが得意な人が行くところといった風潮がありましたが、今ではスポーツ教室「健康づくり。だれでも気軽に参加できる心地よい場所になりました。そう話すのは、市内はもちろん、広く県内で健康体操を指導している佐々木さんです。
 「体力的に辛いくときでも、講座の皆さんと一緒に体操していると皆さんの元気をもらいます。私の講座をきっかけにサークルをつくり、20年間ずっと頑張っている方たちもいるんですよ。本当にありがたいですね。子育てサークルじやんけんキッズも、佐々木さんの親子



6月26日、東和保健センターで開催した「安心子育てセミナー」で、バランスボールを使いリフレッシュ体操を指導する佐々木さん(左)。「合併して活動範囲も広がりました。うれしいですね」

体操教室から生まれたサークルです。「自分たちでやるぞ」という気持ちで、長続きの秘訣。だれかがやってくれるのを待つだけではないけません。私の役目は親子が楽しく体を動かすためのメニューを提供すること。サークルの運営はお母さんたちが自主的に行っています。一生懸命なお母さんたちを手助けできることはとても楽しいですね。
 今、佐々木さんが力を入れているのが「ジャズ体操」。年代や目的に応じて自由に動きをアレンジし、音楽にあわせながら楽しくできる運動です。運動の効果は体力づくりだけではなく、運動の楽しさの人の人とのつながりを生んでくれます。これはかけがえのない財産」と佐々木さん。もっと多くの人が楽しく体を動かしながら、心豊かな時を過ごしてほしい。そのお手伝いがしたいですね。佐々木さんの笑顔には、スポーツをする皆さんへの思いがこぼれています。

ふるさと万歳
 vol. 2
 在京人会だより
 ふるさとサポーター
 ふるさとの皆さん、お元気ですか。新花巻市が誕生して半年あまり。期待を胸に、力強いまちづくりが推進されていることと思います。
 首都圏在住者で結成する在京大迫人会は、今年、創立90周年を迎えました。この記念すべき大きな節目の年にあたり、在京大迫人会ではふるさと大迫へ絵画を寄贈するなどの記念事業を企画し、会員に寄付を募りました。当初は寄付の集まり具合を心配しましたが、取り越し苦労でした。なかでも、80歳になる二人の会員には頭が下がる思いです。
 一人は昭和15年に東京神田の美容院に就職し、安定した生活基盤を築かれた方。10数年前から、ふるさとのために「と積み立てを始められ、その一部を寄付していただきました。もう一人はポルト工場に勤め、のちに自ら会社を興され、現在は会長職につかれた方。今年の大迫人会で公演される早池峰神楽の資金を寄付していただきました。会員にはそれぞれに歴史があり、ふるさとへの思いもさまざまですが、募金を通じて、会員の皆さんのふるさとへの熱い思いが切々と伝わってきました。
 ふるさとの合併をきっかけに、花巻人を中心とした石鳥谷、東和、大迫の在京人会同士の交流が盛んになり、ふるさとを応援するサポーターの裾野も広がりました。今後もそれぞれのふるさとへの思いを胸に、多様にして活力に満ちた新しい「イーハートープはなまき」の創造を心から応援していきます。
 在京大迫人会会長代行
 菊池 裕
 (東京都調布市在住)

